

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア II 講座・准教授
氏名 Name	原真由子
専門分野 Academic Field	社会言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	バリ語山地方言の会話コーパスと語彙データベースの構築
<p>本研究の目的は、バリ語山地方言社会の特徴をふまえた組織的な会話コーパスを構築した上で、言語外の要素と言語構造、言語使用の相互作用を自然会話に基づき考察し、また山地方言に影響を与える平地方言とインドネシア語の混在の傾向と分布を考察することである。そして、会話に現れる語彙を収集済みの基礎語彙に追加し、山地方言に特徴的な文化語彙を含む、言語外の要素と言語の関係、コード混在などの社会言語学的変化に関する情報を盛り込んだ山地方言語彙データベースを編纂することを目指している。</p> <p>今年度は、平成 29 年 9 月に約 2 週間、現地調査を実施した。バリ語山地方言地域であるインドネシア共和国バリ州ブレレン県プダワ村において、いくつかの通過儀礼について、必要な材料や道具、供物および準備・実施のプロセスにかかわる表現や語彙を記録した。また、儀礼における口上や儀礼にかかわる文脈で行われた会話の録音をおこなった。その他に、現地の大学・研究機関（ウダヤナ大学、ワルマデワ大学、国立言語研究所デンパサル支所など）の研究者と、インドネシア語、バリ語、その他地方語などにかかわる言語学的・社会言語学的な事柄について議論し、意見交換をした。</p> <p>平成 30 年 2 月には、バリ語山地方言についての研究成果の一部をウダヤナ大学主催の国際シンポジウムで発表し、参加者と意見交換をおこなった。</p> <p>また、インドネシア語教育についても研究をすすめた。昨年度末に暫定版が完成した基本教材のインドネシア語教育文法に基づいて、各文法項目の例文選定に着手した。</p> <p>さらに、インドネシア語のとりたて表現についての分析を引き続きすすめた（来年度開催のインドネシアでの国際シンポジウムで発表予定）。</p>	